

港区議会議員

区民相談は
お気軽に!

池田たけしNEWS

一人のために、地域のために



発行所：〒107-0052 港区赤坂6-7-14-608 TEL&FAX：03-6230-9441
発行日：2023年7月20日 URL：<https://ikeda-takeshi.net>



令和5年第2回港区議会定例会

代表質問

高齢者住宅の入居拡充について

Q 現在、区内に居住する子が区外在住の高齢の親を呼び寄せる事のできる区の高齢者住宅はシティハイツ港南の高齢者住宅のみとなっております。今後の高齢型住戸の拡充と、区外在住の親の入居申し込みの周知に取り組むべき。

A 今後も高齢となった区外在住の親を区内に居住させることのできる高齢者住宅の拡充に努める。また申し込み方法などについてはSNSの活用などで周知に努める。

実績

西麻布2丁目マンホール



西麻布2丁目のマンホール周辺が陥没し、穴が開いて危険とのお声に修復しました。夜は薄暗い路地、歩行者や自転車、ベビーカーの安全を第一に。

六本木たばこシール



六本木4丁目の保育園もある路地での路上喫煙対策として大判の禁煙シールを敷設。みなとタバコルールの周知と遵守を進めます。

南青山5丁目マンション前の側溝



南青山5丁目のマンション前の側溝に、閑静な住宅地に馴染む細い禁煙シールを複数枚敷設。併せて巡回指導員の巡回強化も行います。

赤坂7丁目路面標示



赤坂7丁目の狭い抜け道に、注意喚起を強化のため「速度落とせ」の標示を路面に追加。通行、通学の安全の確保のために。

南青山4丁目路面標示



南青山4丁目の坂の路面に「歩行者注意」の標示を敷設。坂道の頂上は運転者から確認し難い、ヒヤリとする交差点です。

南青山青葉公園の街灯



南青山1丁目の青葉公園の街灯基底部が欠損、お子さんも遊ぶ公園のため修復。

赤坂氷川神社そばの街路灯



赤坂6丁目氷川神社そば、木々が多く暗い道の街路灯の電球切れを修復。

赤坂6丁目南部坂カーブミラー設置



赤坂6丁目忠臣蔵 赤穂義士伝「南部坂 雪の別れ」に登場する南部坂。曲がり込む坂道に双方で安全確認できるカーブミラーを設置しました。

令和5年共通実績

生活困窮世帯等への物価高騰対策の給付金実現！

2023年3月29日、港区議会公明党は、高騰が続く物価高にあわせた高齢者や生活困窮者、生活保護世帯への対策として、国と地方創生臨時交付金の積み増し分の活用による支援を、港区長に緊急要望。

その結果、5月末から、低所得のひとり親や子育て世帯等への、子ども1人5万円給付が実現。

また、非課税世帯等に対して3万円の給付が、7月18日から開始。さらに、港区独自に、世帯員1人ごとに3万円ずつ追加で給付されることになりました（11月上旬予定）。

公明党は、国と地方の議員ネットワークを活用することで、国の交付金という具体的な財源を示したうえで緊急要望することで、迅速な給付を実現することが出来たと確信しています。



自転車用ヘルメットの購入助成対象を拡大！

令和5年4月1日から自転車に乗る際のヘルメット着用が努力義務化されました。それを受け、公明党港区議団として武井区長に①ヘルメットの助成を全年齢に拡大②シェアリング自転車利用者に対して、ヘルメットの着用を促すよう緊急要望を提出いたしました。

その結果、区が行っているヘルメット購入助成の対象を、現在の区内在住の13歳未満の子どもから全年齢に拡大することになりました。これからも区民の皆様の安全・安心のために尽力してまいります！



区立小・中学校、認可保育園等の給食費無償化が実現！

区では、令和5年9月から、区立小・中学校、認可保育園や児童発達支援センター等に通う児童等の給食費の負担軽減を所得制限なく行い、更なる子育て支援の充実が図られることとなりました。公明党議員団として平成17年第3回定例会にて全額負担軽減を提案。近日では令和4年第3回定例会や令和3年度決算特別委員会で、また本年3月の区長への緊急要望でも訴えおり、長期に求め続けていたものがこのたび実現の運びとなりました！



ヤングケアラー支援が始まります！

これまで公明党議員団は子供たちを誰一人取り残さない取り組みを進めてきました。令和3年度予算特別委員会、令和3年第2回定例会にはヤングケアラーの周知啓発や、早期支援を訴え、それを受け区では昨年9月にヤングケアラー実態調査を実施。その結果から家族の世話をしている子どもの多くが、自分の時間を確保できない状況を把握し、この度の支援の実施となりました。具体的には、訪問による家事・育児支援と定期的な弁当を届ける配食支援、日本語が苦手な親の通訳などを支援します。



ウクライナ避難民支援がきめ細かく拡充

区ではロシアのウクライナ侵攻による避難民の方の受け入れ支援については相談窓口を設置し、見舞い金の支給やスマートフォンの提供などを行ってきました。

港区議会公明党は、2022年9月決算委員会などで、長期化する避難生活における、言葉の支援やリサイクル家具の提供、就労支援など、きめ細かな支援拡充を訴え。

その結果、生活に必要なリサイクル家財の提供、日本語の習得や避難民の交流会、受け入れ側の地域の要望に即した支援、個人ボランティアへのコーディネートなどが拡充されました。このような避難民への切れ目のない支援が評価され、出入国管理庁より港区が自治体として初めて表彰されました。

